

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年11月13日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課室	生涯学習課
-----	------------	------	-------

## 1施設の概要

指定管理者名	青少年育成高知県民会議
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	高知市小津町6番4号
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の運営に関すること</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>・青少年プラザ事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成18年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>囲碁大会</li> <li>将棋大会</li> <li>パソコン教室3回 (ワードエクセルのスキルアップ、楽しく学ぶ教室、楽しくレベルアップ教室)</li> <li>高知城英語ガイド講座</li> <li>ブレイクダンス講座</li> <li>ヒップホップダンス講座</li> <li>エレキギターレッスン講座</li> <li>よさこい納涼花火大会観覧&amp;コンサート</li> <li>フラメンコ体験教室</li> <li>小学生向け事業 3回(海の木工raft教室、電気のふしぎ科学教室、山の木工raft教室)</li> <li>青少年運営委員会(Begin祭り)</li> </ul>
施設内容	<p>バンド、演劇、ダンスなど青少年の自主的な活動の交流や発表の場所、仲間づくりや情報交換、交流活動の場として利用していただいています。</p> <p>利用開始日:平成16年8月1日                  延べ床面積:1086.83㎡                  建築物:鉄筋コンクリート5階建</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トークサロン</li> <li>まんが図書室</li> <li>学習室(個人用) 個人ブース12席、車椅子用1席</li> <li>学習室(グループ用) 15席</li> <li>多目的室 椅子100席、机60席</li> <li>音楽スタジオ</li> </ul>
職員体制	職員:5名 パート職員:4名 合計:9名

## 2収支の状況

		17年度(決算)	18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	18,774,000	15,980,000	15,980,000
	事業費収入	260,200	192,000	262,000
	使用料	969,850	1,082,790	1,082,790
	収入計 (a)	20,004,050	17,254,790	17,324,790
支出	事業費	2,276,128	999,537	1,094,000
	管理運営費	7,600,032	7,014,865	7,010,000
	人件費	8,232,873	8,054,271	8,138,000
	支出計 (b)	18,109,033	16,068,673	16,242,000

### 3 利用実績

#### (1) 利用者数合計 (2)～(5)の計

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均(17・18年度)
人数	12,402	24,803	25,295	25,049

#### (2) 音楽室利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均(17・18年度)
人数	2,310	4,147	3,690	3,919

#### (3) 多目的室利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均(17・18年度)
人数	2,815	4,820	4,669	4,745

#### (4) 学習室(団体)利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均(17・18年度)
人数	764	1,118	964	1,041

#### (5) 学習室(個人)・トークサロン・まんが図書室利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均(17・18年度)
人数	6,513	14,718	15,972	15,345

開館日数	198日	303日	305日
------	------	------	------

### 4 業務の評価

項目	状況説明
事業計画・運営計画の実施状況	事業計画のとおりに行われているが、まだ具体化されていない青少年の相談窓口の設置等については、取り組みを強化してもらいたい。
適正な管理運営の確保	以下の点で、適正な管理運営の確保に向けた工夫が見られた。 館内にある少年サポートセンターと連携して施設利用者とのトラブルに対応している。 機材・備品の扱いやマナーが悪い利用者にはその都度注意を行うほか、次回利用時には事前に規則厳守を伝えてから入館させるよう、職員間での情報共有を図っている。 主催事業の広報に際しては、新聞等の無料コーナーを活用するほか、学校関係者には県教委と連携をして広報を行うなど、コストを意識した広報を行った。
利用者サービスの維持向上	以下の点で利用者サービスの維持向上に向けた工夫が見られた。 夏休み期間の8月(平日)の開館時間を9時30分から8時に変更した。 高校の定期試験期間中等の学習のための入館者増に対応し、グループ学習室・5階多目的ホールを開放した。  なお、以下の点については工夫してもらいたい。 施設利用者を対象にしているアンケート調査の調査項目を工夫すること及び集計分析を行うことにより、さらに利用者ニーズを的確につかむことができる。 学習室(グループ用)、多目的室、音楽スタジオなど、利用にあたって申請が必要な施設については、稼働率など算出し、その利用実態を把握することで、より、利用者ニーズを的確につかむことができる。
利用実績	平成17年度と比較して、音楽室や多目的室及び学習室(団体利用)については減少したが、学習室(個人)・トークサロン・まんが図書室の利用者が増加しており、全体の利用者数は492人の増となった。

項目	状況説明
収支の状況	<p>平成17年度と比較して、収入は2,749千円、支出は2,040千円それぞれ減少をしたことから、結果として収入支出の差額は、平成17年度の約1,950千円の黒字から平成18年度は約1,186千円の黒字と黒字幅が減少した。</p> <p>この原因は、平成17年度が実質的な指定管理の初年度(平成16年度は8月～3月の8ヶ月間の指定)であり、経費見積もりが過大となっていたことによるものと考えられる。</p>
総合評価	<p>事業計画のとおり管理運営されており、利用者サービスについても利便性を図るなど工夫が見られた。また、全体の利用者数も増加し、施設使用料も増額になっている点は評価できる。</p> <p>青少年からの悩みに対する相談窓口としての役割を担えるよう、関係機関や団体とのネットワークづくりに取り組んでもらいたい。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの